

- ① … 県代表として、西武台と西武文理が出場～学校総体兼全国学校総体 埼玉県予選～
- ② … 「公益財団法人埼玉県サッカー協会功労賞表彰式」開催
- ③ … //
- ④ … 「クラブというのはコミュニティ作りでもあるんです」～鈴木 勇・埼玉県クラブユースサッカー連盟理事長
- ⑤ … 「高校がゴールではなく、大学、社会人になってからが勝負～福田直史新技術委員長に聞く
- ⑥ … 大会記録●県内大会 1種自治体・大学・2種高校・3種クラブ・4種・女子
- ⑦ … 大会記録●県外大会 1種社会人・自治体・大学・2種高校
- ⑧ … 大会記録●県外大会 女子・フットサル インフォメーション・事務局だより・編集後記

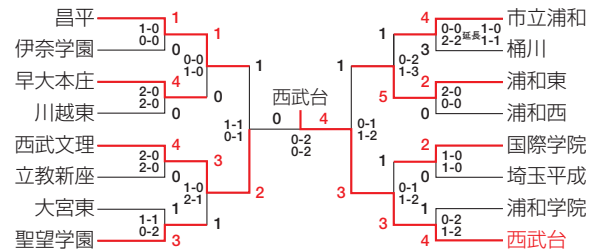
●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

## 県代表として、西武台と西武文理が出場 ～学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会 埼玉県予選～

6月6日から開催された学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会埼玉県予選は、21日、NACK 5 スタジアム大宮で決勝戦が行われ、西武台高校が4対0で西武文理高校を破り、2年連続7回目の優勝を果たしました。西武台高校の高校総体出場は2年連続10回目。準優勝の西武文理高校は、高校総体を含む全国大会へは初出場です。

なお本大会は、8月3日から、神戸市を中心とした兵庫県で開催されます。両チームと女子で関東代表となった花咲徳栄高校の活躍を期待しています。

### ●トーナメント 結果



優勝 西武台高校



準優勝 西武学園文理高校



準決勝 西武台 vs 浦和東



決勝 西武台 vs 西武文理



準決勝 西武文理 vs 昌平

## 浦和レッズ、1st ステージ優勝! ～2015年明治安田生命J1リーグ

6月20日、J1 1st ステージ第16節の神戸戦にて、1対1とドローになったものの、浦和レッズが優勝を決めました。開幕からここまで無敗での優勝は見事でした。これにより、今年度からのJリーグチャンピオンシップへの出場が決まりました。また、Jリーグチャンピオンシップで優勝すると、2015 FIFA クラブワールドカップに日本代表として出場することになっています。

# 「公益財団法人埼玉県サッカー協会功労賞表彰式」開催

5月29日、ラフレさいたまにて、功労賞表彰式を開催しました。皆様、おめでとうございます。また、引き続き埼玉サッカーの発展のために、ご尽力いただきますよう、よろしくお願い致します。



青木 誠氏

	受賞者氏名 受賞チーム名	受賞理由
1	吉田 英三郎	西部地区少年サッカー連絡協議会・西部地域協議会・埼玉県サッカー協会評議員として埼玉県サッカーに貢献した。
2	荘野 禎章	戸田市サッカー協会役員として戸田市のサッカーの発展やJFAのチーム登録の推進に貢献した。
3	植野 幸治	戸田市サッカー理事・埼玉県サッカー協会理事として県社会人リーグ・女子サッカーの発展に貢献した。
4	柳川 佳久	熊谷市サッカー協会理事長・会長、北部地域協議会会長として埼玉県北部地域の発展に貢献した。
5	青木 誠	シニア大会の運営・チーム運営で埼玉県・関東・全国において活躍をした。
6	柳田 国雄	シニア大会の運営・チーム運営で埼玉県・関東・全国において活躍をした。
7	星野 幸男	シニア連盟の運営面の発展に大きく貢献した。
8	秋山 和雄	4種委員長・少年連盟会長・埼玉県サッカー協会理事・評議員として埼玉サッカーの発展に貢献した。
9	東原 茂充	少年連盟の理事・東部地区役員として少年サッカーの発展に貢献した。
10	浦和レッドダイヤモンズ レディース	プレナスなでしこリーグ2014 優勝
11	遠藤 優	FIFA U-17女子ワールドカップコスタリカ2014日本代表として優勝
12	松本 真未子	FIFA U-17女子ワールドカップコスタリカ2014日本代表として優勝
13	南 萌華	FIFA U-17女子ワールドカップコスタリカ2014日本代表として優勝
14	長野 風花	FIFA U-17女子ワールドカップコスタリカ2014日本代表として優勝



荘野 禎章氏



植野 幸治氏



柳川 佳久氏



柳田 国雄氏



星野 幸男氏



秋山 和雄氏



東原 茂充氏



浦和レッズレディース監督 吉田 靖氏



遠藤 優氏



松本 真未子氏



南 萌華氏



長野 風花氏



(吉田英三郎氏は所用のため欠席されました)

# 「クラブというのはコミュニティ作りでもあるんです」

## ～鈴木 勇・埼玉県クラブユースサッカー連盟理事長に聞く

### プレーヤーズ・ファーストとリーグ戦

—ここ数年、あまりクラブユース連盟について紙面で紹介していなかったことを反省しています。さて、大きな変化がいくつかあったと思いますが、ご説明いただけますか。

**鈴木** まずはリーグ戦化ですね。JFA からユース年代のリーグ戦化を求められてきましたが、昨年度で形が整い、ひと段落したところです。「なるべく早く」という要望がありましたが、埼玉としては他県よりも緩やかに進めました。というのは、指導者やクラブ運営者、そして選手たちにできるだけストレスを与えないようにしたいと考えたからです。すべての大会を、リーグ戦をベースにしていこうということは、皆さんの“日常”が変わるということですから、やはり慎重にしていかなければならないと考えたからです。

特に選手は大変でした。関東リーグができたことで県リーグができ、JFA からは選手一人がほしい年間20試合程度の公式戦に出場できるようにしてほしいということでしたが、義務教育である中学生は学校行事も多く、定期テストもあります。よく聞くのは、その行事が土日に行われたり、西部地区では土曜授業も復活するなど、やりくりが大変でした。また埼玉県内の学校環境だけを見ればいいのではなく、南部であれば土曜日に授業のある都内の中学校に通う選手もいます。“プレーヤーズ・ファースト”のはずなのですが、実際のところ子どもたちが板挟みになっている状況が続いていますので、現在も微調整を行っているところです。

—地域性の強いクラブはある程度、まとまりがあるでしょうが、そうでないと選手たちの日常生活が異なるわけですから、調整は難しいですね。なかなか、決定打となる解消策は見つかりませんか。

**鈴木** 考え方として、リーグ戦というのは自主運営ですから、当事者同士での調整ができれば行えると思っています。ただ、そのためにはどのクラブにもいつでも提供できるグラウンドが必要となりますね。

—グラウンドですか。難しい問題ですね。その前に、リーグ戦への移行についてもう一つ質問が。冬場に行っていた新人戦(U-14)を、年間を通したリーグ戦を行った上でのトーナメントとされました。3種の中で、このU-14への着手が一番早かったですよね。

**鈴木** やはりこれも無理をしない、ストレスをかけないためのステップでした。最初からU-15リーグを始めるのではなく、まずU-14リーグからトーナメントを行い、この結果からU-15(中体連含む)の県リーグに繋がったのです。こちらへも2、3年かかったんです。

各クラブを見ても、スタッフの数はギリギリですので、クラブとしてもリーグ戦に向けた準備が必要でした。リーグ戦に参加したくても、スタッフがいなければ参加できませんからね。ですから、中体連と一緒にU-15リーグを運営していますが、中体連のほとんどのチームがU-14、13までは手が回りませんから、そこは無理がかからないようにという話をしています。

こういうリーグ戦を行うというのも、埼玉としての“サービス”だと考えているところです。

### ニーズとサービスと

—“サービス”ですか？

**鈴木** そう思っています。これは、クラブユース連盟の課題である、リーグ戦の自主運営などの「自立」に繋がっていくのですが、来年で組織化して25年を迎えようとしています。

90年代はほとんどのチームの指導者は、スポーツ少年団の指導者をしていて、卒団した後の彼らの受け皿を作ろうとしていました。ですから、誰もがボランティアでした。専任の指導者は、

少数でした。

それが2000年に入ってから、少しずつサッカーを「職業」とする人たちが出てきました。現在、連盟としては74クラブに加盟していただいています。ここ数年の流れを見ると「職業」としている人たちが、生活をするためにクラブを維持しようとしているのです。それまでは、中学生のサッカー環境をよりよくしようとしていた人たちが集まっていたのですが、状況が変わってきているんですね。

わかりやすく言えば、前者は地域貢献を目指しており、後者はフットサル場を運営しながらスクールを開いて、チームを作っている、ギャップが生まれるのです。

ただ、一つの街の中で、子どもたちがサッカーを続ける環境を選べるようになったのも事実です。となると、問われるのはクラブとしての“質”でしょう。ですから、クラブユース連盟としては、子どもたちによりいい環境を与えられる集合体になりたいと思っています。

—クラブを運営されている皆さん一人ひとりが、高い意識を持てるかどうかですね。

**鈴木** 新しく連盟に入りたいというクラブは既存クラブとの競争もあるでしょう。自然淘汰という方向もあると思います。選手の取り合いやグラウンドの利用など、地域での問題を耳にします。ただ、クラブユース連盟の理念としては、地域の中での共存共栄を目指しています。これに賛同していただけることが一番です。準備加盟になっていただくなど時間がかかることもありますが、排除ではないのです。クラブとしての質の向上というハードルは超えていただきたいのです。

また、既存のクラブも同じように問われるのです。子どもよりも親のニーズに応えられないと成り立ちません。クラブとしてもどのような“サービス”ができるかなのです。

あわせて、共存共栄というのは、クラブ同士のことだけではなく、地域の中体連のチームも一緒です。やはりクラブユース連盟としての理念である、地域に根付くこと、一貫指導をしていくということが求められるのです。ですから、地域から応援してもらえるクラブであれば、大歓迎です。

—“ニーズ”を受け止めて、どのような“サービス”を提供できるのか、ですか。

**鈴木** クラブというのは一過性のもではなく、長いスパンで活動するものだと思っています。また、JFA や日本クラブユース連盟にメンバーシップとして登録をしてくれている選手たちにフィードバックとして、サービスを提供しなければなりません。

そう考えると、自前のグラウンドはあったほうがいいですね。先ほど出た「グラウンドが提供できるかどうか」というのは、サービスです。これからは環境整備ができるかどうか。できたところが大きくなるので、変な言い方ですが生き残っていくと思うのです。

本来クラブとは、子どもからお年寄りまで、また健康づくりからアスリートまで、スポーツ、サッカーを通じたコミュニティであるはずで、

ようやく日本でも、グラウンドやクラブハウスの重要性が語られるようになりました。人が集まる場があってこそそのコミュニティであり、クラブなのかなと。サッカーのレベルアップと同時に、そういう理解も広げていきたいものです。



鈴木 勇氏

# 「高校がゴールではなく、大学、社会人になってからが勝負」 ～福田直史新技術委員長に聞く

5月29日に開催された通常理事会において、坂庭泉技術委員長の辞任を受けて、福田直史氏が技術委員長に選任されました。

— 年度途中での急な就任となりました。

**福田** まずは、指導者養成講習会の日程調整を早急にと思っていますが、同時に委員会そのもののメンバー構成、また指導者養成担当も決定しなければなりません。坂庭前委員長のように、オールマイティにできる人材はいませんので、多くの皆さんの協力を得ながらやっていきたいと思っています。

— あわせて、ユースダイレクターには荻野清明氏(浦和東高校教諭)が就任しました。

**福田** この人事は県高体連の中で決めたものですが、荻野さんはこれまで国体スタッフなどを含めて、貢献してくれています。協力しあって、いい組織にしていきたいと思っています。

— 現状をどう認識していますか。

**福田** わかりやすいところで、国体の少年男子を例に出しましょう。関東ブロック大会は突破し、本大会には出場するのですが、なかなか上位に入ることができていません。全国的に見ても、あるレベルの選手は揃っているのに。そこで考えられるのは、指導者の力量不足です。国体のU-16化に合わせて、若手指導者を抜擢してきましたが、やはり経験のある指導者にも協力してもらうことも考えなければいけないと思っています。

どう選手を開花させるかは、指導者の問題です。やはり日本

人が大きく伸びるのは、20才前後から。だから宇賀神選手(友弥・浦和レッズ)など大学を経由してプロになっていく選手もいます。ですから、指導者の皆さんは高校がゴールではなく、大学、社会人になってからが勝負だということを選手たちに意識付けをしてほしいものです。

そういう意味も含めて、次年度以降になりますが、カンファレンスを開催して、様々な指導者の声が聴ける場を作りたいと思っています。

— 最後に抱負を。

**福田** 2、3、4種、女子だけでなく、1種やキッズからの協力をいただきながら、滞ることなく前に進んでいきたいと思っています。特に3種、4種、女子についてはこれから見て回るようになります。とにかく下のカテゴリーから繋げていくことが大事だと思っています。県外への流出もありますが、逆に県外から来てくれる選手がいてもいいのです。様々な形でレベルアップしていきたいと思っています。よろしくお願い致します。(現、鴻巣高校教諭。県高体連前技術部長)



福田直史氏

## ■県少年連盟キッズ部会から報告

- 2014年巡回指導実績……52校  
(うち幼稚園・保育園が2園)、5,738人(同118人)  
・年間を通じて、計画通りに実施できた。  
・凍結や霜により、体育館での実施もあったが、スタッフが臨機応変な対応をしてくれた。
- ※ 2014年度の巡回指導スタッフは、21名
- ※ すでに2015年度は50校(既決)への巡回指導が予定されている。
- 2014年度キッズリーダー養成講習会活動実績……8回  
(U-6を4回、U-8を1回、U-10を3回)、237人受講  
・受講者は過去最多(2008年より)  
・通常の講習会に加え、個別団体を対象にした講習会を開催した。
- ※ 立正大学、西入間地区私立幼稚園協会運動研修会、コピーリススクール保育士、クラーク国際高校  
・「ぴったり3hで取得コース」開催。好評を得た。
- 2014年度キッズフェスティバル、エリートマッチ、ユニクロキッズ  
・ JFA キッズ(U-6)サッカーフェスティバル@熊谷  
6月8日 → → → 雨天のため中止
- ・ JFA キッズ(U-8)サッカーフェスティバル@熊谷  
10月26日 33チーム、390人が参加
- ・ JFA キッズ(U-10)サッカーフェスティバル@越谷  
12月23日 32チーム、383人が参加
- ・ JFA キッズ(U-6)サッカーフェスティバル@埼玉第3  
1月25日 64チーム、866人が参加
- ・ JFA キッズサッカーフェスティバル ユニクロキッズ@西武ドーム  
11月24日 174チーム、2,083人が参加
- ・ JFA キッズ(U-10)エリートマッチ@埼玉  
11月23日 54チーム、630人が参加
- 2015年度キッズリーダーインストラクター受講者  
宮島鉄也(大袋FC)
- ※ すでに受講済み

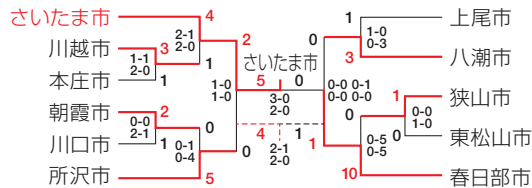


## 大会記録 ● 県内大会

### 1種・自治体

#### 第44回全国自治体職員サッカー選手権大会埼玉県予選

4月18日～5月23日 堀崎公園サッカー場他



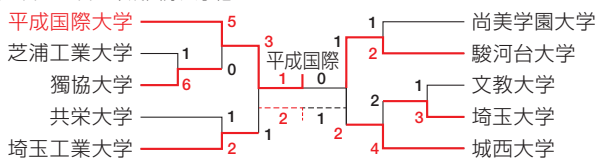
※優勝したさいたま市役所と準優勝の春日部市役所は、神奈川県で行われる南関東予選会に出場する。

### 1種・大学

#### 「アミノバイタル」カップ2015

#### 第4回関東大学サッカートーナメント大会 埼玉県代表決定戦

4月5日～26日 平成国際大学他

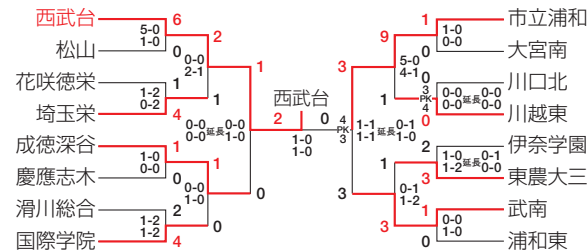


※上位3チームがプレーオフに出場する

### 2種・高校

#### 平成27年度 高校サッカー関東大会 埼玉県予選

4月11日～26日 浦和駒場スタジアム他



※西武台高校は5年ぶり7回目の優勝。西武台と市立浦和は関東大会に出場する。



優勝 西武台高校



準優勝 市立浦和高校



決勝 西武台 vs 市立浦和

### 3種・クラブ

#### 第30回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会・埼玉県予選

4月12日～5月10日 県内各地

#### ●代表決定トーナメント 決勝

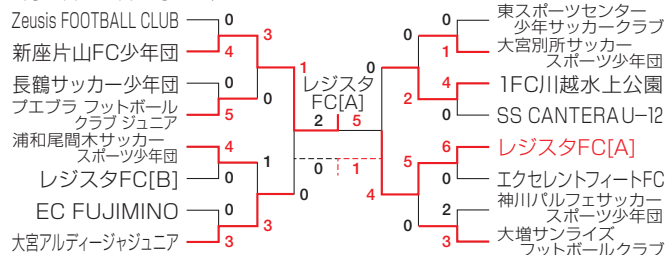
- 第1代表決定戦 東松山ペレーニア 3-0 東春72
- 第2代表決定戦 LAVIDA 4-5 フェスタFC
- 第3代表決定戦 1FC 3-2 クラブ与野
- 第4代表決定戦 FC KASUKABE 3-0 FC深谷
- 第5代表決定戦 草加Jr 1-4 HAN FC
- 第6代表決定戦 CAアレグレ 5-0 三郷Jr

※埼玉県からはこれら6チームと関東リーグに参加している浦和レッズ、大宮アルディージャ、GRANDE FC、クマガヤ SC が関東予選に出場する。

### 第4種

#### 第39回関東少年サッカー大会埼玉県大会

6月14日～21日 埼玉スタジアム第4グラウンド

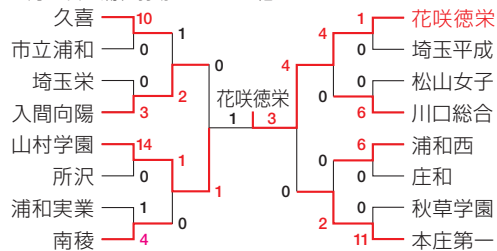


※優勝したレジスタSCを含む上位3チームが関東大会に参加する

### 女子

#### 平成27年度学校総合体育大会埼玉県大会

4月18日～5月10日 浦和駒場スタジアム他



※花咲徳栄は初優勝。関東大会(兼高校総体予選)に出場する。



優勝 花咲徳栄高校



決勝 花咲徳栄 vs 山村学園

#### 第20回埼玉県女子ユース(U-15)サッカー大会

4月11日～29日 しらかばと陸上競技場他



※優勝は浦和レッズレディースジュニアユース。上位5チームが関東大会に出場する。

# 大会記録 ● 県外大会

## 1種・社会人

### 第51回全国社会人サッカー選手権大会関東予選

6月7日～14日 関東各地

1回戦	越谷FC	2-1	LBIBRB TOKYO
		(延長)	
	アヴェントゥーラ川口	2-1	FIFTY CLUB YOKOHAMA
		(延長)	
	FC TIU	3-0	三菱商事サッカー同好会
	大成シティFC坂戸	2-1	クマガヤSSC
		(延長)	
2回戦	プリオベッカ浦安	7-0	越谷FC
	VONDS市原FC	5-1	アヴェントゥーラ川口
	さいたまSC	2-1	東邦チタニウム
	流通経済大学FC	2-0	FC TIU
	日立ビルシステム	0-0	大成シティFC坂戸
		(3PK0)	
代表決定戦	さいたまSC	2-2	FC KOREA
		(4PK5)	

※プリオベッカ浦安、東京23FC、VONDS市原FC、FC KOREA、流通経済大学FC、ヴェルフェたかほら須が本大会に出場する



代表決定戦 さいたま SC vs FC KOREA

## 1種・自治体

### 第44回全国自治体職員サッカー選手権大会南関東予選会

6月13日～15日 神奈川県サッカー協会フットボールセンター他

さいたま市役所 (埼玉県 1位)	2	さいたま市役所
鎌倉市役所 (神奈川県 3位)	0	
船橋市役所 (千葉県 2位)	2	
藤沢市役所 (神奈川県 2位)	4	
市川市役所 (千葉県 1位)	2	
春日部市役所 (埼玉県 2位)	5	
千葉市役所 (千葉県 3位)	1	
逗子市役所 (神奈川県 1位)	2	
	6	
	2	

※上位3チームが全国大会に出場する。

## 1種・大学

### 「アミノバイタル」カップ2015

#### 第4回関東大学サッカートーナメント大会 プレーオフ

5月23日、24日 大東文化大学他

城西大学	3-0	国際武道大学
大東文化大学	2-1	埼玉工業大学
平成国際大学	2-0	関東学園大学

※城西大学と平成国際大学が関東予選に出場する。

### 「アミノバイタル」カップ2015

#### 第4回関東大学サッカートーナメント大会

5月30日～6月7日 味の素フィールド西が丘他

1回戦	城西大学	0-1	明治大学
	平成国際大学	1-0	順天堂大学
	東京国際大学	1-2	駒澤大学
2回戦	関東学院大学	0-2	平成国際大学
3回戦	法政大学	2-0	平成国際大学
5・6位決定戦	東洋大学	4-0	平成国際大学
7・8位決定戦	平成国際大学	0-0	神奈川大学
		(5PK3)	

※優勝は明治大学。平成国際大学は関東第7代表として本大会に出場する

## 2種・高校

### 平成27年度第58回 関東高等学校サッカー大会

5月30日～6月1日 味の素フィールド西が丘

#### ●Aグループ

1回戦	関東一	0-2	西武台
2回戦	西武台	1-1	帝京第三
		(4PK2)	
決勝	西武台	1-3	日大藤沢

#### ●Bグループ

1回戦	市立浦和	1-3	桐生第一
-----	------	-----	------



Aグループ準優勝 西武台高校



Aグループ決勝 西武台 vs 日大藤沢



Bグループ 市立浦和高校



Bグループ1回戦 市立浦和 vs 桐生第一

## 女子

### 平成27年度第4回関東高等学校女子サッカー大会

5月30日～6月1日 赤羽スポーツの森公園競技場他

1回戦 宇都宮文星 0-1 花咲徳栄

2回戦 花咲徳栄 1-0 日本航空(神奈川)

決勝 修徳(東京) 2-0 花咲徳栄

※花咲徳栄は準優勝となり、初の高校総体出場を決めた。



準優勝 花咲徳栄高校



決勝 花咲徳栄 vs 修徳



準決勝 花咲徳栄 vs 日本航空



1回戦 花咲徳栄 vs 宇都宮文星

## フットサル

### 第31回全国選抜フットサル関東大会

5月17日、31日 茨城県水海道総合体育館

群馬県選抜	2	3	3
東京都選抜	6		
埼玉県選抜	6	2	3
山梨県選抜	1		
神奈川県選抜	6	4	2
茨城県選抜	3		
栃木県選抜	3	2	2
千葉県選抜	3		

※優勝は東京都選抜。準優勝の神奈川県選抜と共に本大会に出場する。

## インフォメーション

### ●2018 FIFAワールドカップロシア アジア2次予選 兼 AFCアジアカップ 2019 予選開幕

6月16日、FIFAワールドカップロシア大会アジア2次予選の初戦として、日本代表とシンガポール代表の試合が埼玉スタジアムで行われました。結果は0対0。先発メンバーには GK 川島永嗣(スタンダーレ・リエージュ/ベルギー)、71分には FW 原口元氣(ヘルタ・ベルリン/ドイツ)が途中出場と、埼玉出身の選手が躍動しましたが、勝利には結びつきませんでした。

次戦は9月3日、カンボジア代表との対戦です。なお、この2次予選の4試合はすべて埼玉スタジアムでの開催になっています。一人でも多くの県民の皆さんに、「SAMURAI BLUE」のプレーを見ていただきたいと思います。

### ●JFA 47都道府県協会訪問会議開催

5月22日、北浦和カルタスホールにて JFA47 都道府県協会訪問会議が開催されました。この会議は、JFA の考え方、これからを都道府県協会に伝えると同時に、意見交換を行う場として、毎年開催されています。今回の JFA 側からの出席者は3名。鈴木徳昭・事務局次長兼総合企画部部長、松田薫二・グラスルーツ推進部部長、川崎濃・事業マーケティング本部事業部リーダー。

主なテーマは、JFA 中期計画2015-2022、グラスルーツ推進、JFA メンバーシップ制度、関係省庁、自治体との連携と対応、JFA・Jリーグ協働プログラム、さらに47FA に対するサポート施策でした。

質疑応答では、グラスルーツに関して、障がい者サッカーへの対応、中学校の部活動、校庭の芝生化に関する質問があり、メンバーシップ制度においては都道府県協会への登録費の還元から、登録したメンバーへのサービスにまで話が及びました。またスポーツ省設置に向けて、JFA として取り組んでいる内容も話として出るなど、活発な議論がなされたことは大きな収穫でした。

参加メンバーも、各種別・各専門委員長、4地区代表に加え、今回からJクラブからも参加していただきました。お疲れ様でした。

### ●2015年第一回通常理事会、評議員会、運営会議が終了

2014年度決算の承認を伴う通常理事会が5月29日、評議員会が6月20日に終了し、7月4日の運営会議で報告されました。

主な議題は、2014年度事業報告、同決算報告、福田直史新技術委員長選任、事務局員給与規定変更及び退職金制度導入の報告、SFA 理事利益相反について、JFA からの支援金を利用した事業の報告に関する事、でした。

JFA 選手登録者が6万人と、全国2位の規模です。また審判員資格取得者は2万人を超え、ユース審判員の増加が顕著です。改めて、2015年度もよろしくお願致します。

第1回 SFA 運営会議より▶



## 事務局だより

●高校関東大会男女準優勝。J1、J2好成绩。今年度の埼玉勢は強いのかな?(坂庭)

●幼なじみと20年ぶりの再会! あっという間に昔に戻り、懐かしく楽しいひとときでした。(こいち)

●5月下旬、年下の友達が予定日に元気な女の子を出産! 体重が少なかったので、拳ぐらいの頭に親指の先ぐらいの手で(大きさではなく)とにかく小さくて。自分の〇〇年前を思い出しましたが、赤ちゃんって周りを温かくしてくれて可愛いですね!(かのう)

●私事ですが、6月6日に結婚式を挙げました!! 一生に一度のイベントで準備なども大変でしたが、天候にも恵まれてそして沢山の方々に来ていただいて、本当に素晴らしい幸せな一日を過ごすことができました。

気持ちも新たに、ここからまた頑張っていきたいと思います!(阿部)

●日々暑さが増しています。まだ6月なのにこの暑さ!!! 夏本番が憂鬱です。快適な夏の過ごし方ってないですか? 私なりの過ごし方、現在考案中です。(石川)

●紫陽花の花が美しく見える、雨の季節となりました。先日の、ワールドカップ予選は残念な結果となりましたが、9月は頑張っ、また応援しましょう。

また、審判員の方々も来年度に向けた更新講習会が開催される時期も近づいて来ました。Kickoff 及び県協会の HP で確認して更新をお願いします。Kickoff 操作等で不明な事項は、登録デスク(050-2018-1990)へお願いします。(藤澤)

### 編集後記

日本代表としては痛恨のスコアレスドローでした。改めて「絶対はない」と、思った次第です。そんな中、浦和レッズが今回はしっかり結果を出してくれました。大宮アルディージャも首位を走っています。いい調子ではないでしょうか。

さて、西武文理高校が初の高校総体出場を果たしました。山口豊監督が準決勝の後「前頭くらいで全国に行くなんて……」と各方面に挨拶されていました。うれしさと驚きが半々だったのでしょう。なかなかいい光景でした。県代表として、がんばってきてください。(荒川)